

椿時中 しげなかつ 漢學者、歌人。嘉永二年十一月二十七日伊勢國生れ、  
 昭和二年十一月二十一日歿（八五〇—一九七）。椿家を繼ぐ。明治五年神  
 宮教院の創設に際し補教となり、その教鞭下に落合直文、池邊義象、  
 今井清彦、山口透等がおた。八年神道事務本局の學生全監兼教授とな  
 り、飯田武郷、久保季茲、井上頼国等が同僚とほつた。その後、醫習  
 院に在職十年を挟んで、新潟、盛岡に赴任。二十九年は第二高等學  
 校教授に任じ、次しく主席を占めた。

著書に『こ小國史紀事本末』全二冊（明治十五年八月龍雲堂）、『こ孝經  
 淺説』（明治十六年四月精華堂藏版）、新潟・小林一郎刊（等。おのゝこ）  
 高在藏中より歌作を訊み、『こ喜壽祝賀詞集』くせくせの春風』（大正十五年  
 十月十五日喜壽祝賀聯合和歌會）に、「みちのく集」と題して百首を  
 収載。

